

第82回 尾道市医師会定時総会

平成14年2月24日(日)午後2時より尾道国際ホテルにおいて第82回尾道市医師会定時総会が開催された。委任状を含めて194名(会員総数278名)の出席があり、堀田克介議長から総会の成立が宣言され、議事録署名者には正岡智子先生と日下治先生が指名された。物故会員(故 塚本寛先生、故 正岡孝夫先生、故 橋上正樹先生、故 相原美昭先生、故 山根喜久子先生、故 池尻通夫先生)に黙祷を捧げたあと、片山 壽会長が挨拶され、会長に就任して二年経過した医師会の現況と今後に向けての活動方針をパワーポイントを用いて詳細に説明された。その中で特に介護保険、高齢者医療ケアにおけるいわゆる「尾道市医師会方式」のケアマネジメン

トの実施状況、高齢者医療事業部門の運営状況の報告に加え、ブレネイタル・ビジットのモデル事業の推進、また学校保健、産業保健、中高年齢者保健では種々の講演会、シンポジウム開催を通じての行政との緊密な連携の必要性、医師会のシステムを利用した主治医機能の充実と

病診連携を基盤にした地域医療の向上、発展など「患者に信頼される医療、医療圏」を目指す旨を力説された。さらに県東部医師会三次救急システムの構築などの諸問題に対しては、県東部医師会代表者会議をはじめ各地区医師会との合同シンポジウム、合同理事会を通しての医師会相互の連携強化の必要性を指摘された。

次に各担当理事による諸報告に続き、公的三病院(ＪＡ尾道総合病院、尾道市立市民病院、公立みつぎ総合病院)の院長による近況報告があり、それぞれの病院の沿革、現況、経営方針、病診連携などに言及された。新入会員(Ａ会員・佐藤恭子先生、原田一志先生、佐々木邦子先生、正岡哲也先生、同居会員・数田泰治先生)が紹介されたあと、医療法人社団仁友会(理事長村上 裕先生)と、正岡外科胃腸科医院 正岡哲也先生から寄附を戴いたことへの感謝状が贈呈された。

続いて議案審議に入った。平成12年度の決算関係12議案、平成13年度の補正予算関係2議案、

平成14年度の予算関係8議案及び定款の一部改正案が審議され、全て執行部の原案どおり可決承認された。

本年は役員改選年にあたり、特に立候補者はなく、推薦により議長には石井大二先生、副議長に福原純一先生が新任された。医師会長に片山 壽先生が再任され、監事に小山文平先生、檀上博先生と新たに徳毛公人先生が就任された。

この後、新役員の紹介、退任役員の挨拶、謝辞があり、全ての議案審議を終了した。続いての協議会では、本年4月から施行されるペイオフ問題への医師会の対応について、関係する銀行との協議内容、今後の方針に関して再確認し、会員の了解を得ることができた。

総会終了後、笠井祐蔵先生の「厳しい医療情勢の中、皆さん頑張ろう」との乾杯の発声で懇親会が始まり、ワインも入り和やかに歓談した。最後に小山文平先生の閉会の辞により無事全日程を終了した。(広報担当理事 住元吉明)

会長 片山 壽(再任)

尾道市医師会高齢者医療ケア問題講演会、医療経済・医療政策 担当

副会長 井手 武朗(再任)

医師会会計、総務、医政 担当

高 亀 良 治(新任)

介護保険、ヘルパーステーション、

在宅介護支援センター、尾道・御調

・向島地区介護保険施設連絡協議会

担当

理事 住元 吉明(再任)

庶務、広報、医師協、労災 担当

森 本 茂 人(同)

事業部門会計、介護老人保健施設

サービス評価機構、医師会講演会、

シンポジウム 担当

渡 辺 憲 治(同)

医療事故、勤務医部会 担当

坂 上 正 樹(同)

看護専門学校 担当

木 村 邦 夫(同)

救急医療、災害時医療、医療廃棄

物、尾道市医師会救急蘇生委員会

西 俊 雄(同)

在宅ケア部会 社会保険、老人保健担

理事 三宅 規之(再任)

訪問看護ステーション、ケアマネジメン

トセンター、在宅緩和医療、尾道・御調

・向島地区介護支援専門員連絡協議会

担当

山 辺 高 司(同)

尾道准看護学院、感染症対策、地域

保健対策協議会 担当

西 村 修 平(新任)

産業保健 担当

突 沖 満 則(同)

学術、尾三因医学会 担当

花 房 晶(同)

医療情報、医師会ホームページ、学

校保健、会員福祉 担当

村 上 祥 子(同)

中高年齢者保健、情報開示、健康対

策 病診連携 担当

監 事 小 山 文 平(再任)

檀 上 博(同)

徳 毛 公 人(新任)

議 長 石 井 大 二(同)

副議長 福 原 純 一(同)

医療機関への就職を希望しております。

安田女子短期大学 秘書科

安田女子短期大学秘書科では、広島県医師会と提携して医療機関の事務系統で活躍できる人材を育成しています。

主な学習科目

(医療秘書科目)

健康科学・医療基礎・医療情報学・医療保険請求事務など

(秘書系専門科目)

秘書事務・簿記会計・エンドユーザーコンピューティング・英語・人間関係論など

これらを学習すると、日本医師会医療秘書認定試験の受験資格を得られます。過去4年間の合格率は100%でした。

秘書科の卒業生は就職先で高い評価を得ております。ぜひ、医療機関で働きたいと希望している学生がおりますので求人のお申し込み・お問い合わせを次のところへお願い申し上げます。

広島県医師会 学術研修課

TEL 082-232-7211
FAX 082-293-3363

安田女子短期大学 秘書科

TEL 082-878-9184
FAX 082-878-9184 (直通)